

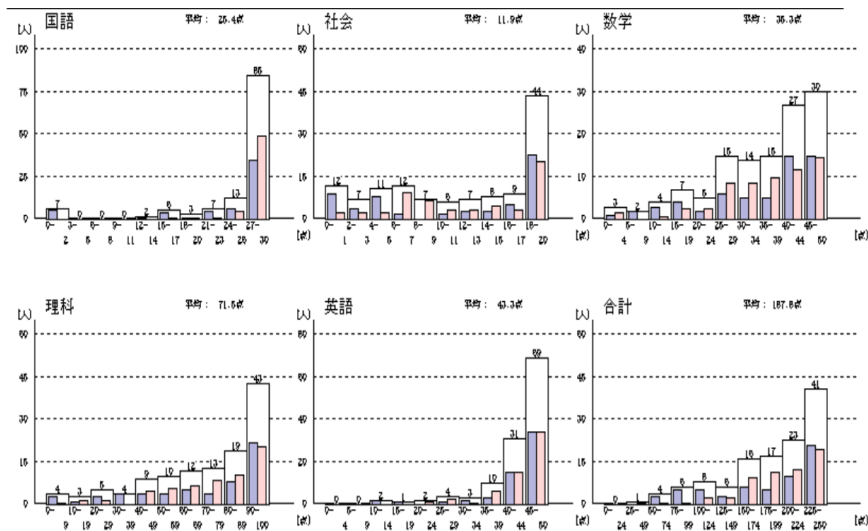
学年だより

テストで良い点を取るためには？

1年生にとって初めてのテストであった小テストデーが行われました。テストに向けての勉強には苦勞している姿もありましたが、テスト当日は全員が必死に取り組んでおり、真剣なムードが伝わってきました。事前に計画を立て、その通りに学習を進めることの難しさや、学習した結果、よくできた喜びとできなかったことへの悔しさを実感していると思います。

定期考査とは、その結果を今後の学習に生かすことを目的に実施しています。他の人との比較や競争をしていますが、意味はありません。テストが返されたら、「間違えたのはどうしてなのか」を考え、自分自身のやるべき課題を見付けて、復習することが大切です。そして、6月にある1学期の期末考査への目標を決める目安として活用していきましょう。また、提出物をしっかりと確認して、決められた期日に提出することも心がけてください。提出期限を守ることは授業に一生懸命取り組むことと同じくらい大切なことです。

【小テスト得点分布表】



	平均	(満点)
国語	25.4	30
社会	11.9	20
数学	35.3	50
理科	71.5	100
英語	43.3	50
合計	187.8	250

<iPad配布について>

4月22日(水)、生徒1人1人にiPadを配布し、自分自身の学習のために活用するなどの目的や、学校内での使用上のルールを確認しました。卒業時まで貸し出すものであり、授業で使うことが増えます。大切に管理していきましょう。

iPadは便利な道具である反面、使い方を間違えると悪影響を及ぼします。**自分自身が「自律」して使うことで、大きな効果が期待できるはず**です。間違った使い方をすると周りの人に迷惑がかかります。また、家庭での使い方も保護者の方と必ず相談してください。「学習」のために利用することを忘れず、正しくiPadを使っていきましょう。

<「中学生になって」の作文より ※一部抜粋>

1組

私は中学生でしたいこと、目標はあります。一つ目は、学習面です。中学生となつてからは、小学生の時とちがつて学ぶ内容が難しくなり、分からない所や苦手なところがより増える可能性があります。それでも、知らないことを学ぶ事によって普段、見ていた物でも学んだ知恵によって変わって見え、新たな視点を得ることでこれからの将来に必要なとされるので習ってきたことを参考にし、頑張っていきたいです。

二つ目は、生活面です。元気で快い状態で学校に登校するためには、栄養バランスや睡眠と運動量などが健康に過ごすために元となっています。体調を整えるようにするためには、生活リズムを正してこれからお世話になる人、お世話になった人に大きな声で元気である証の「あいさつ」を毎日言えるようにしていきたいと思います。

2組

私は中学生になりました。そこにはたくさんの感情が生まれました。一つ目は、悲しさです。小学校で仲良くなった友達が受験して別の中学校に行きました。二つ目は楽しみです。小学校ではなかった部活や修学旅行、中学校では楽しそうだと思う物がいっぱいありました。三つめは不安です。今まで6年間過ごしてきた校舎からはなれるとそれまであった安心感が不安へ変わっていききました。

中学一年生ではこれまであったたくさんの感情を制御しつつ、中学校生活を全力で頑張りたいです。

3組

中学生になってから朝や夜の過ごし方が変わりはじめて、少しずつ忙しくなっていました。小学生のころは家事や身の回りの事をほとんど両親に任せていたけれど中学生になり「自分一人でもできるように」と家のお手伝いのできる事を増やしていきたいと思います。

私が中学生になって楽しみにしていることは部活です。小学校のクラブと違って、週に何回か行われて大会がある部活もあり何をやろうか迷っています。体力向上部は夏に水泳があって楽しそうだし、バドミントン部は前に友達とやったのが楽しくてやってみたくて、卓球も楽しくて面白いからやりたいです。文化部の読書部や科学部も楽しそうなので気に入っています。

中学校に入學して心配なことは勉強関連です。小学生のときは苦手な単元のテストのときにしか勉強してこなかったのでテストの二週間前やそれよりずっと前から勉強していかないとテストは難しいと思うから毎日続けられるかどうか心配です。

また中学生になって重要になってくるのが成績だと思います。中学三年生になって行きたい高校を決める時に成績が低いと入れないかもしれないので細かいルールに気を付けていきたいです。授業や部活も無理のないようにがんばっていきたいです。

4組

中学生になって新しくがんばりたいことは主に二つあります。一つ目は、友達との関わりです。小学生のころはあまり接し方が分からず、どう行動すればよいか、どのように考えを伝えればよいか迷ってばかりで結局どれも実現できぬまじりが過ぎていきました。中学生になってからは環境が変わり、他の小学校から来た人達もクラスにたくさんいました。知らない世界にきたようで緊張していたら、教室で先生は「認め合い」「支えあい」「助け合い」「学びあい」を大切にしてほしいとおっしゃいました。そこで私は、迷うばかりでなくまず関わる事が友達と接するにあたって大事な事だと分かりました。これからも「愛」をもって関わり、すてきなクラスにしたいと思っています。

二つ目は、積極的な行動です。友達と関わり合うには、積極的にコミュニケーションをとることが必要なうえ、よいことをたくさん行動に移すことも大事になります。さらに、積極的に授業で発言すれば自然と内容が身につく、中学校だけでなく、高校や大学、大人になった後にも学んだ知識が役立ち、それがいかされます。これから積極的な行動をすることで、三年間の中学校生活で充実した日々を送れるようにたくさんの人と関わり合いたいです。ここに書いた二つの内容をがんばって中学校生活やその先の暮らしをよいものにするために行事やテストも頑張りたいです。